



# 南戸塚中だより

令和3年度 第6号  
 令和3年10月15日発行  
 学校長 赤堀 貴  
 電話 871-7611



## 後期へ～通常の学校生活継続を願って～

新型コロナの第5波が収まり、緊急事態宣言も解除され、学校も分散登校から通常登校となりました。一か月間、偶数・奇数に分けて半分の生徒しか教室にいない状態を見ていたのに慣れていたせいか、10月4日にクラス全員が教室で座っている様子を見た時には、なんて多いのだろうと感じてしまいました。それも1～2日で慣れ、全員そろったクラスの様子が普通に感じられるようになりました。

二期制の本校では、10月8日が前期終業式で10月11日から後期に入りました。終業式や始業式でもお話ししましたが、この節目に前期の反省や新たな目標を確認し、リセットして前向きになることが大切です。後期も頑張っていきましょう。

### 新しいバスケットゴール



8月中旬から約3週間、体育館バスケットゴール交換工事のため体育館が使用できませんでした。体育の授業や部活動、学校開放には不自由をおかけしました。工事が完了し、バスケットゴールは手動から電動になりました。これまでゴールの上げ下げの時に鎖を回す独特の音が響いていましたが、なくなってしまうと懐かしくも感じます。やはり電動は静かで快適ですね。これから何十年も使うこととなります。大切にしてください。

工事期間中、部活動のために南戸塚小、下郷小、小雀小に快く体育館を貸していただきました。本当にありがたかったです。ありがとうございました。

### 学校のお昼

昼休みの校庭を見ると、その学校の様子が分かると思っています。昼食が終わるとすぐに校庭に出て、ボール遊びや鬼ごっこなど飛んだり跳ねたりして体を動かし元気に遊ぶ姿を見るのは気持ちのいいものです。そういう生徒がたくさんいる学校は活気があり、勉強も頑張っている学校が多いです。どんどん外に出て遊んでください。

昼休みの図書室を覗くと、こちらも大勢ではありませんが、マナーを守り読書をする姿、本を探す姿があり、とても好感が持てます。読書は言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。是非図書室もたくさん利用してください。

裏面あり

### タイトル上のメッセージ

“Crazy little thing called love”『愛という名の欲望』というタイトルの歌の一部です。handle は名詞で「(自動車などの)ハンドル」と知っている単語ですが、ここでは動詞で「(～を)扱う、使う、あやつる」という意味です。あなたにとって扱えないもの、手に負えないことって何でしょう。この歌では *This thing called love* 「愛と呼ばれるもの」、つまり愛だと言っています。ロカビリー風の曲でカッコイイと思います。ギターに興味がある人は、比較的簡単に演奏できる曲ですので、チャレンジしてみるのもいいでしょう。

さて、本校の昼食は家庭弁当の持参、当日注文弁当、昨年度までの「ハマ弁」から替わった中学校給食のいずれかを教室でそろっていただきます。担任の先生も教室で生徒と一緒に昼食をとります。私は中学校教員でしたので、これが当たり前でした。



数年前、小中一貫教育推進が始まった頃、中学校の先生が小学校について理解を深めるために、昼食時から午後の授業参観を行う研修がありました。私は小学1年生の教室に割り当てられ、給食を共にしました。この経験は衝撃的でした。こんな小さな子どもたちの集団が規律正しく給食の準備をし、礼儀たたくく食べ、片付けることができています。小学1年生、7歳の集団をここまでしっかり動けるように指導することがどれだけ大変なことかと考えると、小学校低学年の先生は凄いと思いました。

高等学校に5年間勤務していたこともありましたが、午前中の授業が終わってから午後の授業が始まるまではフリーになります。教室で食事をする生徒、学食へ行く生徒、多目的ホールのテーブルを利用する生徒など自由に食事と休憩をとっていました。中には自習室へ行って、勉強に取り組む姿もありました。先生方は小中学校と違い昼食指導することはなく、自由に時間を過ごしていました。先生方にとっては、高校のシステムはいいものだと思います。校種によってお昼の様子もさまざまです。

### みなとみらい

最近、「都道府県魅力度ランキング」というのが発表されました。1位北海道、2位京都府、3位沖縄県、4位東京都、5位大阪府、6位神奈川県となっています。

私たちの暮らす横浜市は神奈川県を代表する都市のひとつで、横浜を話題にするときの映像は、たいていみなとみらい地区の風景が使われます。海と近代的な建物、また歴史的な建物との調和が美しく、多くの方が訪れてみたい場所となっています。

名前もおしゃれだと思いませんか。平仮名で「みなとみらい」という地名。この地名は柳原良平(1931-2015)という方が拾い上げたのだそうです。横浜市では、この地域の地名を公募で決めることにしていました。しかし、役所の方が挙げてきた地名にぴんとくるものがない。選考委員だった柳原さんは、選考から漏れた作品を一つひとつ見て、平仮名書きの「みなとみらい」を拾い出したのでした。簡潔で、しかも市民の夢も入っていると感じたそうです。

今では誰もが普通に使っている「みなとみらい」という地名。柳原さんがいなかったらこの地名は世にでてこなかったことでしょう。

柳原良平さんは、6年前に亡くられています。今年8月で生誕90年、卒寿を迎えている年になります。船の画家、イラストレーター、アニメーション作家、エッセイストと多才な方でした。サントリートリスというウイスキーのイラスト「アンクルトリス」は柳原さんの作品だそうです。中学生には見る機会はないですね。



自分の暮らす地域のことについて知っておくことも、とても大切です。1年生は12月10日に横浜遠足が予定されています。横浜についてたくさん勉強を重ねていると思いますが、「みなとみらい」の地名の由来も、是非覚えてください。

